



令和7年1月14日

漁業管理課
直 通：092-643-3555
内 線：4103、4114
担 当：中川、中村

糸島地区ブルーカーボン創出報告会を開催します！

～ブルーカーボンの創出で一石三鳥 in 糸島～

海藻に吸収・固定される二酸化炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、近年、脱炭素社会の実現に向けた大きな役割が期待されています。

県では、ブルーカーボンの創出を推進するため、筑前海沿海の漁協や市町、九州大学等で構成される「福岡県ブルーカーボン推進協議会」を立ち上げ、海藻を食害するウニの除去や、除去したウニの養殖などの取り組みを進めています。

糸島地区では、協議会会員によって、ウニの除去をはじめ、さまざまなブルーカーボン創出のための取り組みが活発に実施されています。

この度、全国初の工法である投石再配置工事^{*}のほか、糸島地区で進行中のブルーカーボン創出に関する取り組みについて報告会を開催します。

^{*}過去に石材を投入して人工的に造成した漁場において、投入された石材を現在の環境に適した密度に再配置する工事

1 日時

令和7年1月21日（火）14時00分～15時00分（受付13時30分から）

2 場所

糸島漁業協同組合本所 会議室（糸島市志摩岐志778-5）

3 主催

福岡県ブルーカーボン推進協議会



投石再配置工事



ワカメ養殖

4 内容

- ・協議会会長あいさつ
- ・事例報告
 - (1) 全国初！投石の再配置工事で藻場を回復（県水産振興課）
 - (2) 漁業者による藻場保全のためのウニ除去の取組について（県水産海洋技術センター）
 - (3) 養殖ワカメのブルーカーボンクレジット化について（(株)ヴェントゥーノ）
 - (4) 除去したウニを有効活用！ウニ養殖の取組について（芥屋ウニ養殖部会）
- ・質疑応答

★ 報道機関の皆さまへ

報告会終了後、15時15分まで同会場で、福岡県ブルーカーボン推進協議会、県水産海洋技術センター、(株)ヴェントゥーノが取材対応します。

〈参考〉ブルーカーボンの創出で「1石3鳥」

